

2010 港区民秋季テニス大会

主催 港区教育委員会
(財)港区スポーツふれあい文化健康財団 (一般社団法人)港区体育協会
主管 港区テニス連盟

大会役員 大会会長 堂山 幸男
ディレクタ 岡山 静
レフェリー 松本 龍一
大会運営係 レインボーテニスクラブ

日時 2010年9月26日 8:00~17:00 雨天中止(小雨の場合決行)

会場 麻布テニスコート(オムニコート) 港区南麻布5-6-33
当日の連絡 090-1117-5121

種目 80歳ミックスダブルス

集合時間

No.2-3 27-28 31-32 56-57	の方は AM 7:50
No.4-5 25-26 33-34 54-55	の方は AM 8:10
No.6-7 23-24 35-36 52-53	の方は AM 8:30
No.12-13 17-18 41-42 46-47	の方は AM 9:00
No.10-11 19-20 39-40 48-49	野方は AM 9:20
No.8-9 21-22 37-38 50-51	の方は AM 9:50
No.14-15 16 43 44-45	の方は AM 10:20

上記以外の方は AM 10:50 までに受付を終了してください。

試合方法 トーナメント戦 6ゲーム先取 ノード・ハンテッジ・スコアリング方式
セルフジャッジ方式(天候等により変更する場合があります)

表彰 1~3位(表彰状・副賞)

その他

- ・試合球は主催者がダンロップ フォートエラーを用意する。
- ・試合前の練習は各サイド、サービス4本とする。
- ・けいれんやその他不測の事態が起きた場合は、日本テニス協会発行の「ルールブック」に準じる。
- ・勝者はゲーム終了後、速やかにスコアカードを本部に届ける。

セルフジャッジについて(選手の義務)

・判定とコール

(1) ネットより自分側に関する判定は、全て自分の責任である。

(2) 判定とコール〔「アウト」「フォールト」等〕は瞬間的に、又大きな声とジェスチャーで行われなければならない。

・カウントのコール(サーバーの義務)

新しいポイント、新しいゲーム、新しいセットの始まる前には、サーバーは必ずレシーバーに聞こえるように大きな声でカウントをコールしなければならない。

・サービスのレット

レシーバーから見て、どう見てもサーバーがフットフォールトを犯しているとき判断したときには速やかにレフェリー(又はコートレフェリー)を呼び事情を説明して、善処してもらうことが出来る。(但し、コートを出るときには相手方の了承が必要である)

・試合が終了したら

勝者はスコアを大会本部に報告しなければならない。